

小学校第3学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 姿が見えない相手への礼儀 2－(1) 礼儀
- 2 資料名 「電話の向こうはどんな顔」 出典『みんなで考えるどうとく3年』日本標準
- 3 主題設定の理由

○ ねらいとする価値について

相手の立場に立ち、心のこもった接し方を心掛けることは、社会生活を営む上でこの上なく大切である。

従来、日本人は礼儀を重んじ、様々な場面において、そのよさを伝統化してきた。しかし、近年は、礼儀のすばらしさや伝統をおろそかにする風潮が多々見受けられる。

礼儀を重んじるということは、相手を重んじることであり、礼儀を大切にすることで、相手の立場に立つ温かい態度が生まれるということである。たとえ相手の姿が見えなくても、人と接するときには常に相手の立場に立つ謙虚さをもつべきである。

○ 児童の実態について

本学級の児童は、3年生になってから道徳の時間に礼儀について学習をするのは、今回が初めてである。これまで、生活の中で場に応じて礼儀の大切さの指導を行ったり、学級活動であいさつの仕方について話し合ったりしたが、礼儀の大切さや、礼儀のもつ意味などについて深め合うような取り組みは、まだ行っていない。

よって、本学級の児童は「礼儀は大切である。」という意識はあっても、礼儀ある態度が型だけで他律的なものになっているという実態が見受けられる。また、姿が見えなくても相手の立場に立ち、心のこもった接し方があることを理解できている児童は少数であると思われる。

○ 資料について

本資料は、電話の応対における礼儀の在り方をテーマとした読み物資料である。主人公の陽一が漫画の本を読んでいるところに母親の友人から電話が掛かってくる。受話器を取った陽一は、台所にいる母親に取り次いだが、呼び声が届いていない上に、漫画に夢中になってしまう。しばらくしてはっとした陽一は、あわてて母親を呼びに行くが、戻ってきたときには受話器は床に落ち、相手には不愉快な思いをさせてしまう。たとえ相手の姿が見えなくても、人と接するときには相手の立場に立つ謙虚さと、心のこもった接し方ができる礼儀の大切さを指導するのに適した内容である。

○ 情報モラル教育の視点

情報モラルに関する実態調査の結果、携帯電話を自分用、または、家族と共用している児童が全体の約30%近くを占めていることが分かった。また、メールなどを日常で使用している児童も12%ほどおり、いずれにしても相手の姿が見えないコミュニケーションを経験している児童がいる。反面、「友達に何かを伝えたいときどうしますか。」という問いに対しては、「直接話す。」の項目を選んだ児童が多かった。この資料に登場する情報伝達手段は家庭用電話であるが、小学校3年生であれば、十分身近な存在と言えるので、姿が見えない相手への礼儀について身に付けておく必要がある。

○ 指導の手立て

小学校3年生にとっての礼儀の定義とは、目の前に姿が見えている相手に対するものと考えられがちなので、導入では児童が考える様々な礼儀の在り方について自由に発言させる。また、資料の内容では主人公の道徳的価値が達成できなかった部分が強調されているので、反省的な発言があれば深く追及しない。教師の説話では、姿が見えない相手へも礼儀正しい行為を行ったことでもたらされた経験談を紹介する。手立てについては、児童に役割演技をさせることで、電話の向こうの岩井さんがどのような気持ちであったかを考えさせる。展開後段では、書く活動を行うことで、礼儀に対する自分の考えをワークシートに整理させる。また、礼儀に対しての児童の意見交流の際は、姿が見えない相手への礼儀に対してのとらえ方は様々であると考えられるので、教師が補助発問により整理する。

4 本時のねらい

相手の姿が見えなくても、人と接するときには謙虚な心で相手の立場に立ち、心のこもった接し方が大切であることに気付かせる。

5 本時の展開

◎：中心発問 ☆：情報モラルにかかわる発問

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点・期待される児童の姿
導 入 ／	<p>1 身近な礼儀について考える。</p> <p>2 資料を読む。</p> <p>3 電話に集中していない陽一の気持ちに共感する。</p>	<p>○ 礼儀正しい態度とは、例えばどんなことを指すだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつがきちんとできる。 ・ 丁寧な言葉遣いができる。 ・ 礼がしっかりできる。 <p>○ 受話器を肩に掛け、漫画を読んでいるときの陽一君はどんな気持ちだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早く集中して読みたい。 ・ めんどうだな。 ・ 早くお母さんが来ないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目の前に相手があるの礼儀が挙げられると予想されるので、深くは追求しない。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">様々な礼儀の在り方について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陽一の電話の応対における問題点を押さえておく。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">主人公の心情と自分の心情を重ねて考えることができる。</p>
展 開 ／	<p>4 岩井さんの立場に立って考える。</p> <p>5 姿が見えない相手への礼儀について考える。</p>	<p>○ 電話の向こうで、岩井さんはどんなことを思っているだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ずいぶん遅いわね。 ・ 失礼だなあ。 ・ 何かあったのかしら。 <p>◎☆「岩井さんは、受話器の向こうでどんな顔をなさっていたでしょうね。」というお母さんの言葉を聞いた陽一君は、どんなことを考えたでしょう。「礼儀」をキーワードにしてメッセージを書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漫画に集中しすぎた。 ・ きちんと取り次げれば良かった。 ・ 岩井さんに申し訳ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話なので岩井さんの顔は見えないことを確認する。 ・ 児童に役割演技をさせることで、岩井さんがどのような気持ちであったかを考えさせる（陽一役は教師が演じる）。 ・ 書く活動後、姿が見えない相手への礼儀に関する記述があれば紹介する。 ・ 姿が見えない相手への礼儀に対して、児童のとらえ方は様々であると考えられるので、教師が補助発問により整理する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">姿が見えない相手への礼儀について考えることができる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">電話を使うときのマナーについて考えることができる。</p>
終 末	<p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>○ 「嬉しかったメール」の話をします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ユニセフに募金したときに、募金先の相手から手厚いお礼のメールが届いた話</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いがけずお礼のメールを受け取った嬉しさを話すことで、相手の立場に立ち、心のこもった接し方が大切であることに気付かせる。